



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日
東

上場会社名 GMO TECH株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6026 URL https://gmotech.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 鈴木 明人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 本堂 宏樹 (TEL) 03(5489)6370
 定時株主総会開催予定日 2025年3月18日 配当支払開始予定日 2025年3月21日
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	6,868	9.8	899	58.8	948	68.7	669	65.1
2023年12月期	6,256	14.7	566	149.6	562	172.2	405	-

(注) 包括利益 2024年12月期 664百万円(64.4%) 2023年12月期 404百万円(-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	614.17	490.40	65.9	34.3	13.1
2023年12月期	368.95	298.26	67.6	22.5	9.1

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 -百万円 2023年12月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	2,767	1,222	44.2	633.98
2023年12月期	2,756	806	29.3	241.12

(参考) 自己資本 2024年12月期 1,222百万円 2023年12月期 806百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	402	△117	△318	1,264
2023年12月期	354	△135	△60	1,279

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	0.00	0.00	0.00	184.48	184.48	196	50.0	396.5
2024年12月期	0.00	0.00	0.00	307.09	307.09	325	50.0	70.2
2025年12月期(予想)	0.00	0.00	0.00	450.97	450.97		65.0	

注 上記配当の状況は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の種類株式の配当の状況をご参照ください。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	8,000	16.5	1,100	22.3	1,100	16.0	750	12.1	693.80

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)ー 除外 一社(社名)ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期	1,100,620株	2023年12月期	1,100,620株
② 期末自己株式数	2024年12月期	39,440株	2023年12月期	36,305株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	1,067,029株	2023年12月期	1,060,977株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種種類株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	0.00	0.00	0.00	313,698.63	313,698.63
2024年12月期	0.00	0.00	0.00	250,000.00	250,000.00
2025年12月期(予想)	0.00	0.00	0.00	250,000.00	250,000.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
連結損益計算書	5
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年1月1日から2024年12月31日)におけるわが国経済は、コロナ禍からの脱却が進み、個人消費の回復やインバウンド需要の拡大が進む中、拡大基調で進みつつあります。

当社の事業領域である国内インターネット広告市場についても拡大傾向にあり、2024年度にはインターネット広告媒体費は前年度から8.4%拡大し、2.9兆円を超える見込み(※1)であります。人々の生活の中で、インターネットの利用は引き続き拡大しており、インターネット広告業界も引き続き堅調に推移しました。

(※1)出所：電通グループ4社 2024年3月発表「2023年 日本の広告費 インターネット広告媒体費 詳細分析」

このような環境の下、当連結会計年度において、当社グループの集客支援事業は昨年度に続き、顧客基盤を拡大し、売上高を増加させております。不動産テック事業についても、顧客数を着実に増加させることに加え、ストック売上を拡大させております。

以上の結果、当連結会計年度における業績は、売上高6,868百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益899百万円(前年同期比58.8%増)、経常利益948百万円(前年同期比68.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益669百万円(前年同期比65.1%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①集客支援事業

集客支援事業には、検索エンジン関連サービス、運用型広告・アフィリエイト広告サービス等を含んでおります。検索エンジン関連サービスにおいては、注力サービスとしておりますMEOサービス(※2)について、新規案件を積上げ、業績は安定して伸長しております。アフィリエイト広告サービスにおいては、直販営業に経営資源を多く投下しております。その結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は6,552百万円(前年同期比8.7%増)、セグメント利益は988百万円(前年同期比31.5%増)となりました。

(※2)MEOとは(Map Engine Optimization)の略で、主としてGoogle社が提供するGoogle Mapにおいて上位表示を実現しアクセスを増加させること、またそのための技術やサービスを指します。

②不動産テック事業

不動産テック事業には、連結子会社GMO ReTech株式会社が提供いたします賃貸DXサービス等が含まれます。賃貸運営を楽にする、をミッションとし、賃貸運営に関わる方々をもっと自由にするために、サービス開発、改善に取り組んでまいりました。当連結会計年度におけるセグメント売上高は316百万円(前年同期比38.8%増)、セグメント損失は93百万円(前年同期は190百万円の損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ11百万円増加し、2,767百万円となりました。主な変動要因は、ソフトウェア106百万円の増加(前連結会計年度末比105.9%増)、受取手形、売掛金及び契約資産89百万円の減少(前連結会計年度末比8.7%減)、前払費用58百万円の増加(前連結会計年度末比39.2%増)、等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度における負債合計は、前連結会計年度末に比べ404百万円減少し、1,545百万円となりました。主な変動要因は、買掛金209百万円の減少(前連結会計年度末比30.9%減)、賞与引当金71百万円の減少(前連結会計年度末は71百万円)、長期借入金70百万円の減少(前連結会計年度末比33.3%減)、等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ416百万円増加し、1,222百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金455百万円増加、自己株式36百万円増加、その他有価証券評価差額金4百万円減少、等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、1,264百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果増加した資金は402百万円（前年同期は354百万円増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が948百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

連結会計年度において投資活動の結果減少した資金は117百万円（前年同期は135百万円の減少）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出125百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果減少した資金は318百万円（前年同期は60百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額213百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2025年12月期の連結業績見通しにつきましては、売上高8,000百万円、営業利益1,100百万円、経常利益1,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益750百万円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

2024年12月期の普通株式については、配当性向50%を基準とし、1株あたり307.09円の配当を決定しております。A種種類株式に関しては、2022年8月4日付公表の発行要項に基づき、1株あたり250,000円の優先配当金となります。

2025年12月期の普通株式の配当については、2025年2月12日発表の「剰余金の配当（増配）、配当の方針ならびに株主優待制度の変更に関するお知らせ」に記載のとおり、2025年2月12日開催の取締役会において、配当性向を65%以上とすることを決議いたしました。この方針に基づき、普通株式1株あたり450.97円の配当を予定しております。A種種類株式に関しては、2024年12月期と同じく、1株あたり250,000円の優先配当金となる予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえた上で、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,279	1,264
受取手形、売掛金及び契約資産	1,030	941
前払費用	150	209
その他	5	19
貸倒引当金	△1	△6
流動資産合計	2,463	2,428
固定資産		
有形固定資産	20	18
無形固定資産		
ソフトウェア	100	207
ソフトウェア仮勘定	48	36
その他	0	0
無形固定資産合計	149	243
投資その他の資産		
投資有価証券	31	20
繰延税金資産	48	12
その他	42	45
投資その他の資産合計	122	77
固定資産合計	292	339
資産合計	2,756	2,767
負債の部		
流動負債		
買掛金	675	466
未払金	345	361
1年内返済予定の長期借入金	70	70
未払法人税等	158	156
契約負債	267	229
賞与引当金	71	-
その他	140	109
流動負債合計	1,728	1,393
固定負債		
長期借入金	210	140
その他	11	11
固定負債合計	221	151
負債合計	1,949	1,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	386	387
利益剰余金	405	860
自己株式	△92	△128
株主資本合計	799	1,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	2
その他の包括利益累計額合計	7	2
純資産合計	806	1,222
負債純資産合計	2,756	2,767

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	6,256	6,868
売上原価	3,800	3,999
売上総利益	2,455	2,869
販売費及び一般管理費	1,889	1,970
営業利益	566	899
営業外収益		
助成金収入	4	4
受取手数料	1	-
為替差益	-	25
受取和解金	-	20
その他	3	4
営業外収益合計	9	54
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	7	-
支払手数料	1	-
投資事業組合運用損	-	2
その他	0	-
営業外費用合計	13	5
経常利益	562	948
特別利益		
投資有価証券売却益	-	2
特別利益合計	-	2
特別損失		
固定資産除却損	-	3
特別損失合計	-	3
税金等調整前当期純利益	562	948
法人税、住民税及び事業税	180	246
法人税等調整額	△23	32
法人税等合計	157	279
当期純利益	405	669
親会社株主に帰属する当期純利益	405	669

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	405	669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△4
その他の包括利益合計	△0	△4
包括利益	404	664
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	404	664

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	995	△609	△100	385
当期変動額					
自己株式の取得				△0	△0
剰余金の配当					
欠損填補		△609	609		-
自己株式の処分				8	8
自己株式処分差益		0			0
親会社株主に帰属する当期純利益			405		405
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△608	1,014	8	414
当期末残高	100	386	405	△92	799

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	7	7	392
当期変動額			
自己株式の取得			△0
剰余金の配当			
欠損填補			-
自己株式の処分			8
自己株式処分差益			0
親会社株主に帰属する当期純利益			405
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△0	△0	△0
当期変動額合計	△0	△0	413
当期末残高	7	7	806

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	386	405	△92	799
当期変動額					
自己株式の取得				△46	△46
剰余金の配当			△213		△213
欠損填補					-
自己株式の処分				10	10
自己株式処分差益		1			1
親会社株主に帰属する当期純利益			669		669
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	1	455	△36	420
当期末残高	100	387	860	△128	1,219

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	7	7	806
当期変動額			
自己株式の取得			△46
剰余金の配当			△213
欠損填補			-
自己株式の処分			10
自己株式処分差益			1
親会社株主に帰属する当期純利益			669
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4	△4	△4
当期変動額合計	△4	△4	416
当期末残高	2	2	1,222

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	562	948
減価償却費	15	36
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	4
受取利息	△0	-
支払利息	3	3
投資有価証券売却益 (△は益)	-	△2
固定資産除却損	-	3
売上債権の増減額 (△は増加)	△247	89
仕入債務の増減額 (△は減少)	57	△209
未払金の増減額 (△は減少)	△79	9
投資事業組合運用損益 (△は益)	△0	2
前払費用の増減額 (△は増加)	△76	△58
契約負債の増減額 (△は減少)	△134	△37
受取和解金	-	△20
為替差損益 (△は益)	-	△17
賞与引当金の増減額 (△は減少)	71	△71
その他	214	△45
小計	385	633
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△3	△3
和解金の受取額	-	20
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△27	△248
営業活動によるキャッシュ・フロー	354	402
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△0	-
無形固定資産の取得による支出	△131	△125
投資有価証券の分配金による収入	3	8
敷金の差入による支出	△0	△0
貸付けによる支出	-	△1
投資有価証券の売却による収入	-	2
その他	△6	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△70	△70
配当金の支払額	-	△213
自己株式の取得による支出	△0	△46
自己株式の処分による収入	9	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60	△318
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	157	△15
現金及び現金同等物の期首残高	1,122	1,279
現金及び現金同等物の期末残高	1,279	1,264

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業については、グループの各事業会社を取り扱う製品・サービスについての事業展開・戦略を立案し、事業活動を行っております。従って、当社グループは各事業会社の行っている関連する事業により、「集客支援事業」「不動産テック事業」を報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と概ね同一であります。報告セグメント間の取引価格及び振替価格の決定方法については、市場価格に基づいております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	集客支援事業	不動産テック 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,028	227	6,256	—	6,256
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	6,028	228	6,257	△0	6,256
セグメント利益 又は損失(△)	751	△190	561	4	566
その他の項目					
減価償却費	15	—	15	—	15

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4百万円は、セグメント間内部取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. セグメント負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	集客支援事業	不動産テック 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,552	316	6,868	—	6,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	6,552	316	6,869	△0	6,868
セグメント利益 又は損失(△)	988	△93	895	4	899
その他の項目					
減価償却費	36	—	36	—	36

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4百万円は、セグメント間内部取引消去であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。
 3. セグメント負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。
 4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

(1株当たり情報)

	前連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	241.12円	633.98円
1株当たり当期純利益金額	368.95円	614.17円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	298.26円	490.40円

1株当たり当期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
(1) 1株当たり当期純利益金額	368円95銭	614円17銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益金額	405	669
普通株主に帰属しない金額(百万円)	13	13
(うち優先配当額(百万円))	(13)	(13)
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	391	655
普通株式の期中平均株式数(株)	1,060,977	1,067,029
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	298円26銭	490円40銭

(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	13	13
(うち優先配当額(百万円))	(13)	(13)
普通株式増加数(株)	297,589	296,975
(うち新株予約権(株))	(614)	—
(うちA種種類株式(株))	(296,975)	(296,975)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。